

令和7年度 ひょうご農商工連携ファンド採択事業者一覧 【7年度 新規4件】

	事業名	連携体構成員名 (◎は代表者)	事業内容
1	ドローンによるセンシング技術を活用した丹波栗農園向け農薬散布事業	◎白鶴ファーム株式会社 (丹波篠山市)	白鶴ファーム(株)と肥料農薬販売会社の(株)うはら商店が栗農園でドローンを活用した農薬散布を行うサービスを目指す。ドローンでの農薬散布は水稻を対象としたものが中心だが、栗農園での農薬散布には複雑な起伏や立体的な地形のセンシングが必要となる。センシング用ドローンと地形解析ソフトを使って地形をデータ化をして丹波栗農園向けのサービスを開発する。
		株式会社うはら商店 (丹波篠山市)	
2	丹波さんなんリゾットで地域活性化	◎合同会社ナカニシ (丹波市)	農産物の加工及び販売業者である(同)ナカニシと農業者である丹波からふるファームが丹波市山南町産のリゾット米と有機野菜を使用し、リゾットの加工食品(レトルト食品)を開発する。
		丹波からふるファーム (丹波市)	
3	インバウンド外国人向け、飲食店における「日本茶体験」提案事業	◎グラム (芦屋市)	お茶のコンサルティング業であるグラムと茶葉の生産者である(株)仙靈が連携し、兵庫県産の茶葉を使用したインバウンド外国人向けのアレンジティを開発します。ターゲットはアジア圏+英語圏のリピート訪日している高所得者層を顧客とする個人飲食店への販売を想定しています。
		株式会社仙靈 (神崎郡)	
4	竹資源循環により栽培された兵庫県産有機甜菜と有機パッションフルーツを使用した発酵調味料(コンブチャドレッシング)の開発	◎Hawaiian Kombucha合同会社 (ハワイアンコンブチャ) (神戸市)	発酵飲料製造業者であるHawaiian Kombucha(同)と農業者であるあまくぼ農園が連携し、パッションフルーツを使用した発酵調味料を開発する。生産する農場には放置竹林の竹をチップや炭にした土壤改良材を使用し、本州ではほとんど前例のない冬期に収穫する有機JAS認証のパッションフルーツを栽培する。
		あまくぼ農園 (三田市)	